広報おうしゅう Vol.100 2014 6

□発行日／6月12日　□発行／奥州市　〒023－8501 奥州市水沢区大手町1－1　□電話／0197－24－2111　□編集／総務企画部政策企画課　□印刷／鈴木印刷㈱

Oshu Heritage

奥州遺産

～ときを越え受け継がれるもの～

No.45

弘法の枕石

＝おろせ広場（胆沢区若柳）＝

弘法の枕石は、昨年完成した奥州湖畔の西側に鎮座している。胆沢ダム工事に併せ、湖畔の道路や橋梁を整備。弘法の枕石の周辺も、猿岩を一望できる「おろせ広場」として整備された。

今から遡ること1200年ほど前、猿岩にある於呂閇志神社を参拝した弘法大師は、仙北街道を通り秋田へ向かったと伝えられている。その際、この巨石の上で一夜を明かしたとされ、弘法の枕石と呼び名が付けられた。

石淵ダム湖底に、長くその身を隠していた弘法の枕石。胆沢ダム工事により再びその姿を現した。しかし、胆沢ダムが完工すると完全に水没してしまうため、地元住民が意を結集。愛宕地域振興会が中心となり、平成24年に弘法の枕石は湖底から引き上げられた。

新たな景観スポットとなったおろせ広場と弘法の枕石。深緑の眩いこの季節、多くの人の訪れを待ちわびている。

1

2

1 縦2.0㍍、横4.8㍍、高さ1.0㍍の弘法の枕石。重さは15㌧と推定され、弘法大師が石の上の突起部に頭を乗せて休んだといわれている　2 おろせ広場から焼石岳山頂の方角を望む。青々と生い茂る木々が自然の豊かさを感じさせる

広告

VEGETABLE OIL INK ※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約33円です。】